

又汝南圃史ニ、扁柏ニ黃柏ノ名アリ、キハダト同名ナリ、

〔秋苑日涉三〕機泉龍栢〇中

又〇良日、側栢枝幹柔密、揉之不斷、葉々爲幢蓋鸞鶴蛟龍之狀、動以萬數、曰龍栢、坡今寺院園中有、以

檜栢爲龍虎之狀者、雖鄙俗可笑、亦有所本矣、又宋景濂遊鐘山記曰、明日甲辰、予同二君遊崇禧院、從

西廡下、入永春園、園雖小衆、卉略具、揉栢爲麋鹿形、栢毛方怒、長翠濯々可玩、二君行倦、解衣覆鹿、上掛

冠鼠梓間、據石坐、程涓千一疏曰、世之爲園者、松柏之屬、剪縛而爲禽爲獸、山茶杜鵑之屬、結構而爲塔

爲亭、竹桂之叢、板列而爲垣爲墻、余家先世園林數十、競以此相矜尚、甚則有糞束爲美女、武夫狀者、尤

奇醜可笑、及余輩爲政、乃破此習、草木之性、任其直、遂暢茂可也、當何罪而拘係之、桎梏之乎、

〔書言字考節用集六植〕弱檜同字者認

檜俗用此

〔和漢三才圖會八十二〕檜音

檜音

檜音

又桑實爲檜、今俗以檜訓左和良、

按檜乃栢之屬、尾州驪州多有之、葉似檜而微渾朴、木皮濃於檜、結實亦如檜、其材微似杉、而縱理也、料

板葺屋甚良、作扇、箱、作桶及笏、以偽杉、有臭氣、初以熱湯可洗去臭、小對時與檜難辨、但試折柔、

一種黑部、久呂倍、正字未詳其樹葉狀與檜木能似、而標粗大美、燒焦之則標愈可愛、人僞爲燒杉、以作扇、篋

〔大和本草十一〕木サハラ

檜ノ類ナリ、葉ハヒカゲノカヅラニ似テ、ツ子ノ木ニ異ナリ、其皮モ檜

ニ似タリ、木ハ文理ナシ、マキノ如シ、莖ノフキ板ニ用テ、マキニマサレリ、宮殿ニハコレヲ以テク

也、春初挾ニバ活ク、

〔書言字考節用集六植〕明日檜出紙

檜紙

〔枕草子三〕木は

あすはひの木、此世ちかくも見えきこえず、みだけにまうで、かへる人など、あかもてあり、くめ

る、枝ざしなどのいと手ふれにくげに、あらく、まけれど、何の心ありてあすはひの木とつけ、

檜

アスナラフ